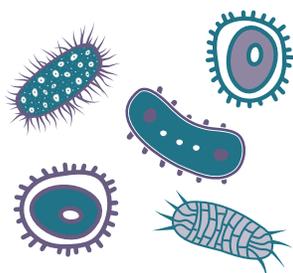


# ポストバイオティクス

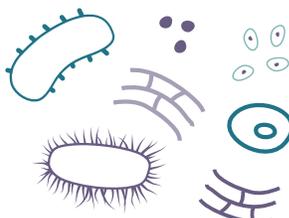
ポストバイオティクスは、宿主の健康に良い効果をもたらす無生物形態の微生物、および/または微生物の細胞構成成分を用いた調製物です。

## ポストバイオティクスの構成成分

ポストバイオティクスは、完全な形のままの無生物形態の微生物細胞、

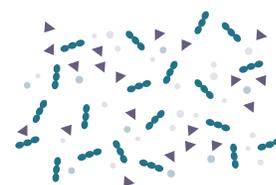


および/または、微生物の細胞断片や構造体を



細胞壁、細胞膜、菌体外多糖、アンカー型タンパク質、繊維など

代謝産物や生成物の有無にかかわらず含むことができます。



有機酸、ペプチド、分泌タンパク質、酵素、バクテリオシンなど

## ポストバイオティクスの性質：

- ✓ ポストバイオティクスは微生物に由来しますが、必ずしもプロバイオティクスに由来する必要はありません。
- ✓ 細胞の生存を止める意図的な処理を施す必要があります。
- ✓ 製造されたポストバイオティクスは、代謝産物の有無にかかわらず、不活性化された微生物細胞あるいは細胞構成成分を含まなければなりません。
- ✓ 生きている細胞は、最終製品には存在しないか、またはごくわずかです。
- ✓ 対象の宿主において、健康に良い効果をもたらすという事を示したエビデンスが必要です。
- ✓ 使用目的に沿ったポストバイオティクス調製物の安全性の評価が必要です。

## ポストバイオティクスではないもの：

- ✗ ウイルス (バクテリオファージを含む)
- ✗ ワクチン
- ✗ 細胞の構成成分を含まない濾過液
- ✗ 精製された微生物由来の成分 (例：タンパク質、ペプチド、菌体外多糖など)
- ✗ 精製された微生物代謝産物 (例：有機酸など)

## ポストバイオティクスの定義の解説：

ポストバイオティクス は、生物に関連するという意味の「biotic」と(生命の)後を意味する「post」を語源としています。

調製物 としたのは、微生物バイオマス、マトリックス、不活性化方法などの特定の処方 (製剤) が有効性に影響を与えるかもしれないと認識しているからです。

無生物 としたのは、「死」や「不活性」という用語が健康に良い効果をもたらすことができる物質ではなく、効力がない物質を連想させるかもしれないと認識しているからです。

構成成分としたのは、健康効果は、細胞が断片や完全な形であるかに関わらず、多様な異なる細胞部位によってもたらされるかもしれないと認識しているからです。



詳細については [ISAPPscience.org](https://www.isappscience.org) を参照するか、Twitter [@ISAPPscience](https://twitter.com/ISAPPscience) をご覧ください。